

〒145-0061 東京都大田区石川町1-14-11
グリーンヒルズ大岡山102号

TEL 03-6421-8320 FAX 3728-5071
Eメール jrtoukairou@yahoo.co.jp

J R 東 海 労 働 組 合

発行人 小林 光昭
編集人 高山 浩

2015年
8月1日
第363号

JR東海労

http://www.geocities.jp/jrtoukairou/

安倍政権への怒り爆発！ シュプレヒコールが響いた国会前・日比谷

戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会が主催する「戦争法案廃案！強行採決反対！大集会」が、7月14日と28日の両日、日比谷野外音楽堂で開催されました。集会終了後は、国会への請願デモが行われました。集会とデモには、2万人以上の市民・労働者が結集し、JR東海労は、JR総連の仲間と共に、積極的に集会に参加しました。



「光州5・18民主化闘争35周年記念集会」が7月26日、エル・おおさか市民が集まりました。JR東海労は、JR西労、

弾圧の歴史を忘れまい！ 大阪で光州5・18民主化闘争35周年記念集会

JR貨物労組の仲間と共に積極的に参加しました。第1部は、「光州5・18民主化闘争」の映像鑑賞、詩集『光州詩編』朗読、5・18記念財団理事長と野火烈士事業団の挨拶が行われました。第2部は、喜久山和弘さんより与那国島の自衛隊配備反対の闘い、古賀初次さんより佐賀空港オスプレイ配備反対の闘いが報告されました。第3部は、日韓民衆の歌と踊りが披露されました。



【光州民主化闘争とは】1979年、朴正熙(パク・チヨンヒ)大統領が暗殺され、18年にわたる軍事独裁政権が幕を下ろした。しかし、軍部の一部勢力が粛軍クーデターで事実上、政権の実権を握ると、軍事政権の復活を警戒する学生らの民主化デモは韓国全土に拡大した。1980年5月17日、軍の実権を握っていた全斗煥(チョン・ドゥファン)は、非常戒厳令を全国に拡大。金大中や金泳三ら有力政治家を連行した。翌18日、南部の光州では、空挺部隊が投入され市民・学生などに発砲した。死者は154人、行方不明者70人、負傷者1628人に上るとされている。

安保関連法案の審議が参議院で始まった。衆議院での安倍政権のあの傲慢さを見れば、すでに予想はつくだろう。60日ルールの適応も予測される。まさに、「民主主義」に名を借りた数の暴力である▼当初の予算を大幅に上回り、批判の的になった新国立競技場問題で、安倍首相は「国民の批判があったから、ゼロベースで見直す」と。安保関連法案については国民の批判をなぜ受け止めないのか！国立競技場建設で国会前の抗議があったとも言えるのか！非常に見苦しい▼この法案が通ってしまうえば、自衛隊は確実に戦場に赴き、戦闘行為に加担することは明らか。外国からは日本は軍事国家のレッテルを貼られるだろう▼報道によると、民主党は徴兵制を懸念している。集団的自衛権は憲法違反というのがこの間の自民党政権の見解であった。それが安倍政権になったとたん、180度逆転した。今安倍首相は「徴兵制は違憲」という見解を示しているが、いつ逆転してもおかしくない。こんな言動に騙されてはいけない▼私たちは、残されたわずかな時間を有効に使って、反戦・平和の闘いを推し進めよう。誰が歴史の汚点をつくったのかをハッキリさせよう。

たしろかおる応援プロジェクトの強化、全地本で確認!

4地本定期大会が成功裡に終了

各地本は定期大会を開催し、安倍政権が強引・傲慢に進めている「戦争のできる国」づくりを許さないために、たしろかおる応援プロジェクトをさらに強化することを確認しました。

新幹線地本 第21回定期大会

新幹線地本は6月27日、大井町中小企業センターで第21回定期大会を開催しました。

成田委員長は「ボーナスカットや年休問題の闘いは、会社を追い込んでいく。闘いの成果を確認し、今後もしっかりと闘おう。7月に実施された検修体制見直しは、違法な偽装請負の疑いがある。これを覆す闘いは様々なところに波及していく」と挨拶しました。

質疑では、効率化や年休問題に対する職場における具体的な闘いの報告、不当なボーナスカットをされた仲間からの闘う決意表明など、活発な



発言がありました。

杉沢書記長は、総括答弁で「職場の重苦しい空気を問題にしなから、職場を変えていかなければならない。戦後70年の節目、再び戦争の危機が増す中、それはイコール反対運動の危機であることと訴えました。」

静岡地本 第26回定期大会

静岡地本は7月16日、静岡労政会館で第26回定期大会を開催しました。

山本委員長は「昨日強行採決された安保関連法案に、断固抗議する。予備自衛官制度が今後、政府や企業の施策として拡大されることを危惧する。揭示物不当撤去行政訴訟の闘いを推し進めよう」と挨拶しました。

質疑では、「平和集会や学習会を行った」「新幹線火災事件に見られるように、テロを防ぐことは困難であり、テロの対象にならない国づくりが大切である。そのために、たしろ議員を応援しよう」「60歳以降も専任社

員として職場に残る議論をつくらう」などの意見が出されました。

渡辺書記長は、総括答弁で「職場の諸問題の根源は葛西名誉会長である。リニア建設のためのしわ寄せは職場に来る。たしろかおる議員は国政の場で葛西名誉会長と闘っている。応援を強化しよう」と訴えました。



名古屋地本 第25回定期大会

名古屋地本は7月10日、金山「アピタン」において、第25回定期大会を開催しました。

山田委員長は「戦争の法整備を急ぐ安倍政権を許さない取り組みをはじめ、中労委、三重地労委、労働審判など第三者機関



を活用した闘いなど、会社からの組織破壊攻撃を組織を強化することで反撃してきた。何より、JR総連や組織内議員たしろかおる参議院議員の働きかけで、名古屋駅構内における危険な出区点検を改善するなど、大きな成果を勝ち取った」と挨拶しました。

質疑では、「会社の熱中症対策は不十分だ」「ワンマン列車にIC乗車券対応精算機を設置すべき」「落ち葉などによる空転対策として散砂装置を設置すべき」などの意見が出されました。

荻野書記長は、総括答弁で「たしろかおる参議院議員の働きで職場改善を勝ち取る事ができました。全ての闘いをたしろかおる応援プロジェクトに結実させよう」と訴え、大会を終了しました。

新幹線関西地本 第21回定期大会

新幹線関西地本は7月12日、大阪市立市民交流センターひがしよどがわで第21回定期大会を開催

しました。

小林委員長は「一部OBによるJR東労組への組織破壊が明らかにされた。いかなる政党や党派からの介入を許さない。本人訴訟など、不当なボーナスカットに対する闘いを強化しよう。強権的な労務政策、人間性を否定し、社員を追い込むやり方は許せない。職場から声を上げていこう。地本結成20周年行事を開催する。行事の成功に向けて奮闘する」と挨拶しました。

たしろ議員 便り

質疑では、労働委員会・本人訴訟の闘い、安倍政権の暴走を許さない闘い、「改憲阻止プロジェクト」を中心にした闘いの強化、職場諸要求の獲得、効率化反対、偽装請負に対する闘い、「たしろ応援プロジェクト」の強化についてなどの意見が出されました。



畑野書記長の総括答弁を受け、全ての闘いを「たしろ応援プロジェクト」の強化につなげていくことを全体で確認し、大会は終了しました。



最終戦から、70年の歳月が流れました。いま改めて、先の戦争によって犠牲となった多くの人々に思いを馳せなければなりません。終戦後、先達は多くの困難を乗り越えて、今日の平和な日本をつくり上げてきました。

平和の尊さ、有難さが危うくなる状況が過去にもあったように、今、「戦争法案」が議論され、安全保障政策の転換期を迎えようとしています。終戦70周年の節目に当たり、私たちは歴史の教

訓に学び、未来を見据え、外交努力、民間の友好交流による相互理解、国際貢献を以って世界と日本の平和への道を築いていかなければなりません。しかし、いま安倍政権は「戦争法案」を強引に成立させようとしています。先の戦争で犠牲になつた人々の死を無駄にせず、未来ある若者の命を戦争によって失わせないために、何としても法案成立を阻止しなければなりません。

先日、JR東労組本部主催の「300回記念政経フォーラム」で講演を頂いた民主党・岡田代表は「衆議院の強行採決に對しても市民は諦めず、反対の声を上げ続ける運動を展開している。そして、そのうねりをさらに大きくしている。私たちも市民と連携し、国会内外でこの法案の撤回、廃案へと最後まで取り組んでいく」と500名にも及ぶ出席者を前にして力強く訴えられました。